

2020 年 7 月 13 日

報道関係各位

株式会社東京ドーム
(コード番号：9681 東証第1部)

新型コロナウイルス対策として、営業施設、事務所に体表温度測定器を導入

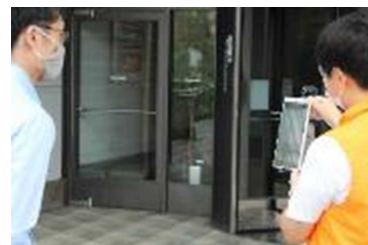
株式会社東京ドーム（本社：東京都文京区、代表取締役社長：長岡勤）は、ご来場のお客様、取引先のみな様、従業員が安心して過ごせるように、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、営業施設、事務所に体表温度測定器を導入した事をお知らせします。

導入した体表温度測定器は全部で 83 台となります。対象者の体温を非接触で測定することが可能で、発熱者を可視化することで、発熱の症状があるご来場の方への速やかな対応を実現します。発熱症状者の方を判別することで、新型コロナウイルスの感染拡大を未然に防ぐ一助になると考えています。

東京ドームグループは、引き続き、お客様と感動を共有するために、安全を第一に考え、行動して参ります。

■導入内容

- ・ SenseThunder（センス・サンダー）50 台
日本コンピュータビジョン株式会社
- ・ FLIR E75 7 台
リコージャパン株式会社
- ・ Face Plus AI サーマル検知端末 26 台
iFLY ソリューションズジャパン株式会社



東京ドームゲート使用イメージ
(Sense Thunder)

■主な設置箇所

東京ドーム（従業員等含む入退場口全て）、東京ドームホテル、本社ビル、東京ドームシティ内営業施設、東京ドームシティ内営業部門事務所、松戸公産（グループ会社）など

—報道関係の方からのお問い合わせ先—

(株)東京ドーム 広報 IR 室

〒112-8575 東京都文京区後楽 1-3-61 TEL.03-3817-6029 / FAX.03-3817-6022

dome-koho@gms.tokyo-dome.co.jp / <https://www.tokyo-dome.jp/>

■体表温度測定器概要

◆SenseThunder

ソフトバンク株式会社の子会社である日本コンピュータビジョン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：アンドリュー・シュワベッカー）が開発提供しているもので、AI 顔認識技術と赤外線カメラを使い、マスクを着用したままでも来場者の温度を所要時間 0.5 秒かつ±0.3 度の精度で抽出し、発熱の疑いがある来場者を検知できる特長を持ちます。また来場者の個人情報や画像データは一切取得しません。

◆FLIR E75

フリアーシステムズジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 香川 大造）が体表面温度測定の国際標準に基づき開発提供している製品です。体表面温度は測定方法と環境により著しく変化するため、ISO（国際標準化機構）や FDA（アメリカ食品医薬品局）エビデンスに基づいた測定方法を採用してサーモグラフィカメラを有効な対策手段として活用しています。FLIR E75 では有効なスクリーニングができる専用のモードを搭載し 1998 年より世界各国の空港や病院などで採用されています。

測定方法や機器に関するお問い合わせについては
フリアーシステムズジャパン株式会社 インストゥルメント
事業部 E-mail : info@flir.jp
販売に関するお問い合わせについては
リコージャパン株式会社 SmartVision 事業企画室 E-
mail : zjc_tokushu_dc1@jp.ricoh.com



◆Face Plus AI サーマル検知端末（品番：MP612-TM1W1）

iFLY ソリューションズジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：索 東輝）が、日本市場向けに開発、提供している製品で、AI 顔認証技術とサーモグラフィ技術を組み合わせ、タブレット型の端末だけで、手軽に安価に施設入口での体表温度の検知が可能となり、スタッフの感染を防ぐ非接触式セルフ型のサーマル検知端末です。AI 顔認証&高感度赤外線センサー搭載により、0.5 秒の体表温度検知と±0.3° C の温度精度を実現しています。

詳細については
iFLY ソリューションズジャパン株式会社
E-mail : info@iflyolutions.co.jp



体表温度測定器 設置の様子

以上